

令和4年度組織機構について

～将来を見据え、諸課題にしなやかに対応していく組織への土台づくり～

令和4年度は、第2次磐田市総合計画後期基本計画スタートの年です。本計画を的確に展開し、『安心できるまち・人が集まる磐田市』の実現を目指すため、組織改編を行います。

◎子どもたちの安心

・ こども未来課のグループ再編

こども関連施策の企画・調整担当グループの明確化とこどもの発達支援を一層推進するため、「総務・給付」「子育てサポート」「発達相談」の3グループとするもの。

・ 「ひとほんの庭 にこっと」をこども未来課の課内室へ移行

子育て支援センターの相談機能強化における効率的な相互連携のため。

・ 学校教育課にGIGAスクール担当の配置

GIGAスクール構想のさらなる推進のため。

◎まちづくりと防災への安心

・ 危機管理課を市長直下の単独課として位置付け

危機管理事象発生時の指示・命令の明確化と、機動性・即応性を一層高め、全庁を部局横断的に指揮できるようにするもの。

・ 資産経営課のグループ再編

公共施設の活用と管理を総合的に取り組み、公共施設の最適化の推進、資産の一元管理を行うため、「資産活用推進」と「資産管理」の2グループとするもの。

◎未来と仕事の安心

・ 各種担当の配置

企画部…「未来のまちづくり戦略担当」

市全体の公民連携に係る諸施策を検討するため。

自治市民部…「スポーツ戦略担当」

本市のスポーツ資源の有効活用を推進するため。

「かたりあ運営・交流担当」

文化施策への市民参画を更に推進するため。

経済産業部…「首都圏情報担当」

新産業創出の情報収集のため。

「歴史観光担当」

本市の歴史資源の観光への活用を検討するため。

◎安心できる市役所づくり

- ・ 産業部を経済産業部へ名称変更

経済に関する諸施策の所管部を明確化するため。

- ・ 秘書部門と政策部門の分割

政策部門の位置付けを明確化するため、市長公室を「秘書課」、秘書政策課を「政策推進課」と名称変更するもの。

- ・ 情報政策課の名称変更と担当配置

市民サービスの向上や行政事務の効率化を図る行政におけるDX推進のため、「デジタル政策課」へ名称変更し、「DX推進担当」を配置するもの。

- ・ 地域づくり応援課のグループ名称の変更

多文化共生の所管を明確にするため、「地域支援・青少年育成グループ」を「多文化共生・市民活動グループ」に変更するもの。

- ・ 磐田市立総合病院 事務部の再編

業務の現状にあわせ、病院総務課「施設物品グループ」を「施設管理グループ」へ改称するもの。

病院経営に重要となるシステム管理や医療情報の活用促進のため、経営企画課を「財務物品グループ」と「企画情報グループ」の2グループへ再編するもの。

令和3年度 1 2 部 5 1 課 9 課内室 1 2 4 グループ



令和4年度 1 2 部 5 1 課 9 課内室 1 2 8 グループ